

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて －アクティブ・ラーニングの視点からの学びの改善－



「アクティブ・ラーニング」の視点とは？

「主体的・対話的で深い学び」を実現するために共有すべき授業改善の視点。

学びの質に着目して、授業改善の取組を活性化しようというのが、今回の改訂が目指すところである。



「主体的・対話的で深い学び」の実現とは？

特定の指導方法のことではなく、子どもたちに求められる資質・能力を育むために必要な学びの在り方を考え、授業の工夫・改善を重ねていくこと。

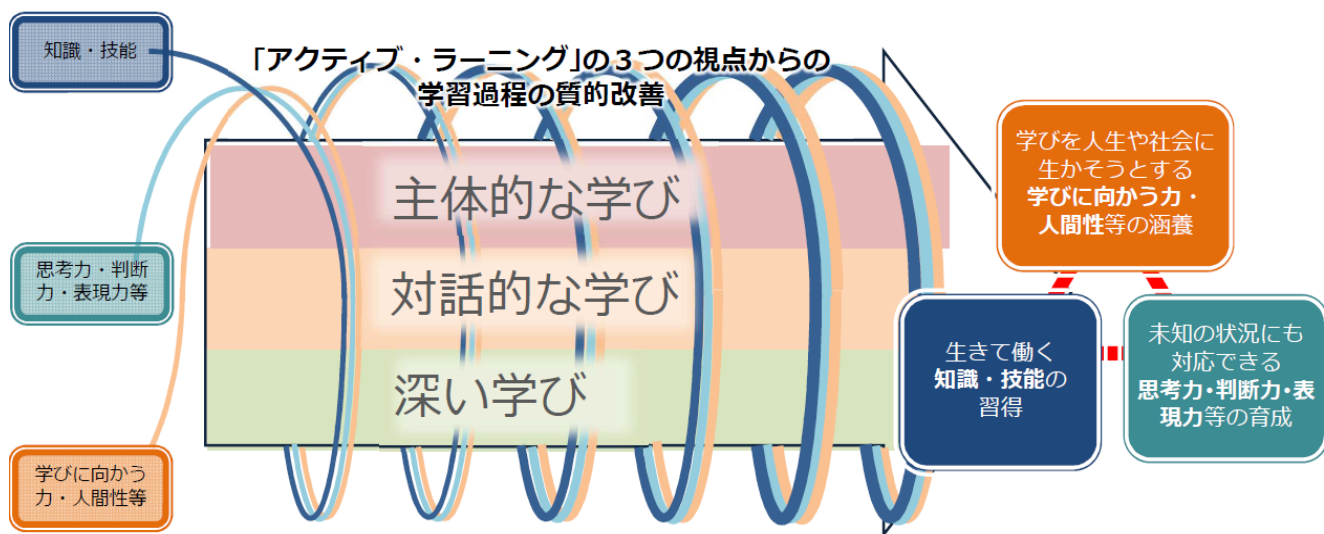
現在既に行われている活動を、「主体的・対話的で深い学び」の視点で改善し、単元や題材のまとまりの中で指導内容を関連付けつつ、質を高めていく工夫が求められている。



資質・能力の育成と「主体的・対話的で深い学び」の関係

「主体的・対話的で深い学び」の視点を明確にすることで、授業や学習の改善に向けた取組を活性化することができる。

授業や単元の流れを子どもの「主体的・対話的で深い学び」の過程として捉え、子どもたちが、習得した概念や思考力等を手段として活用・発揮させながら学習に取り組み、その中で資質・能力の活用と育成が繰り返されるような指導をしていく。



※ 基礎的・基本的な知識・技術の習得に課題が見られる場合においても、「深い学び」の視点から学習内容の深い理解や動機付けにつなげたり、「主体的な学び」の視点から学びへの興味や関心を引き出すことなどが重要である。

【図1 資質・能力の育成と主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」の視点）の関係（イメージ）】
【中教審答申補足資料より】



「主体的・対話的で深い学び」の視点とは何か？

「主体的な学び」

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる。

「対話的な学び」

子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める。

「深い学び」

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう。

次世代型教育推進センターでは主体的・対話的で深い学びの視点からの学習過程の質的改善により実現したい子どもの姿をピクトグラムでイメージ化しています。



これら三つの視点は、

子どもの学びの過程としては一体として実現されるものであり、また、それぞれ相互に影響し合うものでもあるが、学びの本質として重要な点を異なる側面から捉えたものであり、授業改善の視点としてはそれぞれ固有の視点であることに留意が必要である。

単元や題材のまとまりの中で、子どもたちの学びがこれら三つの視点を満たすものになっているか、それぞれの視点の内容と相互のバランスに配慮しながら学びの状況を把握し、改善していく。

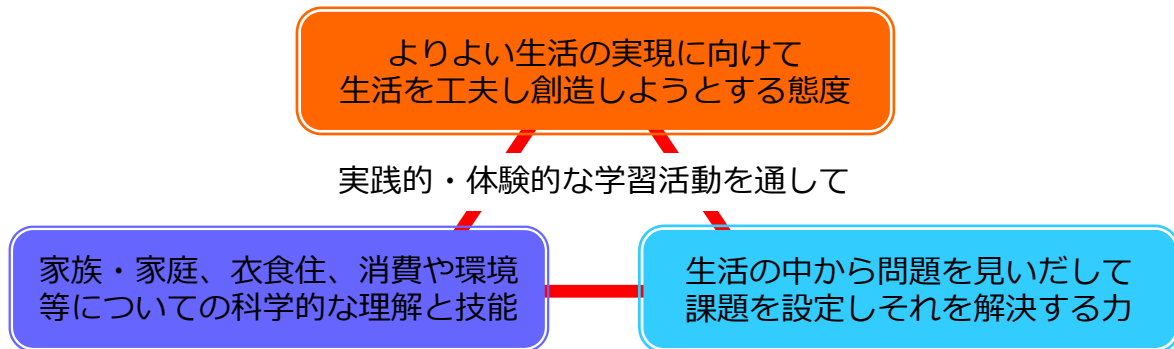


「主体的・対話的で深い学び」は、

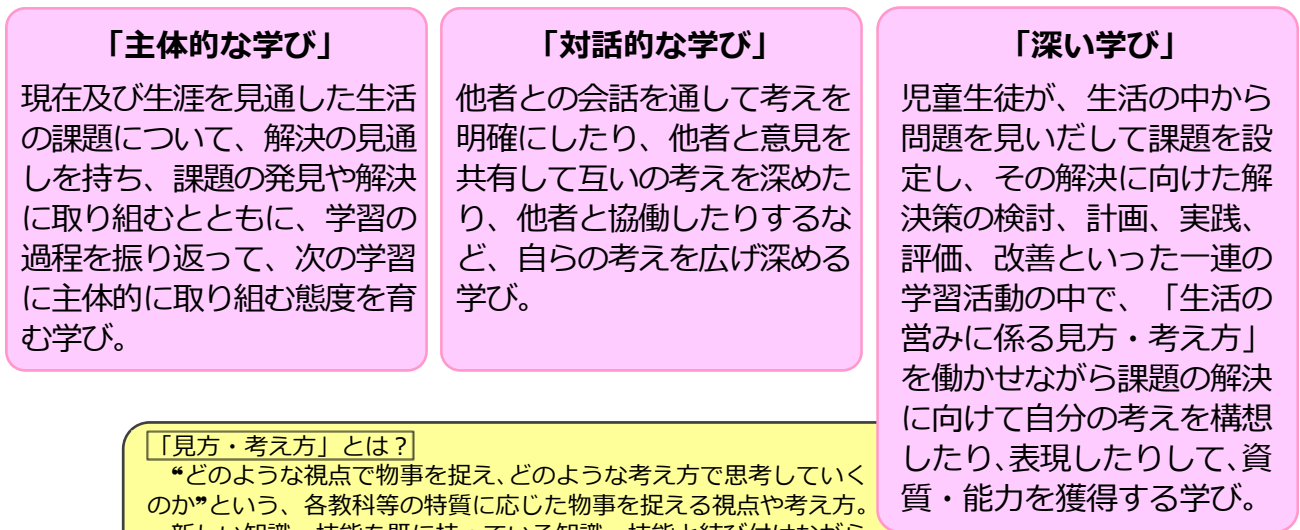
- 1 単位時間の中で全てが実現されるものではない。
- 単元や題材のまとまりの中で、例えば
 - ・主体的に学習を見直し振り返る場面をどこに設定するか
 - ・グループなどで対話する場面をどこに設定するか
 - ・学びの深まりを作り出すために、子どもが考える場面と教員が教える場面をどのように組み立てるか
 といった視点で実現されていく。



家庭、技術・家庭（家庭分野）で育てたい資質・能力とは？



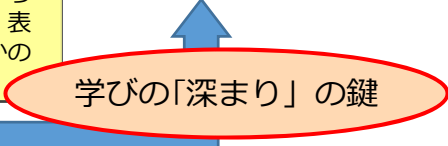
家庭、技術・家庭（家庭分野）における「主体的・対話的で深い学び」の視点とは？



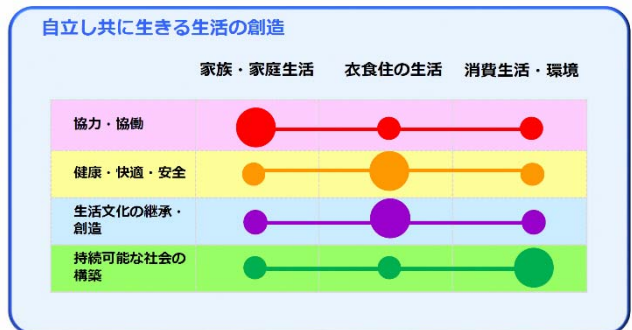
「見方・考え方」とは？
“どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか”という、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方。新しい知識・技能を既に持っている知識・技能と結び付けながら社会の中で生きて働くものとして習得したり、思考力・判断力・表現力を豊かなものとしたり、社会や世界にどのように関わるのかの視座を形成したりするために重要なもの。



「生活の営みに係る見方・考え方」とは？



生涯にわたって自立し共に生きる生活を創造するために
「家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること」



※主として捉える視点については、大きい丸で示している。取り上げる内容や題材構成等により、どの視点を重視するのかは異なる。

【図2】 「生活の営みに係る見方・考え方」と内容の関連
[中教審答申別添資料より]

<参考資料>
中央教育審議会 「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」平成28年12月21日
次世代型教育推進センターホームページ <http://www.nits.go.jp/jisedai/>